
海賊戦隊ゴーカイジャー!!絶対に笑ってはいけないのぞヒビ探偵事務所!!

ターザン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

海賊戦隊ゴーカイジャー！！絶対に笑ってはいけないのぞびび探偵事務所！！

【Nコード】

N3613Z

【作者名】

ターザン

【あらすじ】

海賊戦隊ゴーカイジャーがのぞびび探偵事務所で地獄の1日をすごす。

プロローグ

海賊戦隊ゴーカイジャーのメンバー6人は突然ターザンに呼び出された。

ターザン「よく来たねゴーカイジャー。」

マーベラス「一体何のようだ、俺達はスーパー戦隊の大いなる力を手に入れるのに忙しいんだよ。」

ジョー「さつさと終わらせてくれないか？」

ターザン「まあまあまあ・・・皆さんのレンジャーキーにある仕掛けをしましてね。」

ルカ「私達のレンジャーキーに？」

ターザン「その通り、俺に逆らったらビリビリがでるようにしておいた。」

ゴーカイジャー「はあ!？」

ハカセ「ちょっとそれどういう事!？」

アトム「詳しくお聞かせください!！」

ターザンはゴーカイジャーに指を差す。

ターザン「ズバリあなた達はこれからのぞヒビ探偵事務所で1日探

偵をやってももらいます!!」

ゴーカイジャー「はあ!？」

鎧「い、いきなり言われても困るっすよ!？」

ターザン「はい逆らった!!」

ターザンは手に持っているスイッチをおす。

ビリビリビリビリ!!

鎧「うわおおおおお!!？」

ハカセ「あ、あまりの痛さに鎧の声がうらがえってる!？」

マーベラス「おいてめえ!!こっちはもうちょいで最終回なんだぞ!!こうしてる間にもバスコに大いなる力を奪われちゃう!!」

マーベラスはターザンの胸ぐらを掴む。

ターザン「そ、それは大丈夫ですほら!!」

マーベラス「?」

ターザンが指を差す方向にはシンバルを持ちメタリックな感じのサルといかにも裕福そうな格好のどっかで見た事ある人がいた。

マーベラス「バスコか?」

バスコ「そっだよマベちゃん。」

よく見ると手錠をかけられている。

ジョー「・・・捕まったのか？」

バスコ「うん。」

ルカ「・・・本気で？」

バスコ「YES。」

ハカセ「・・・なぜ？」

バスコ「なぜでしょう？」

アイム「私達に聞かれても・・・」

鎧「とりあえず安心・・・？」

ターザン「はいレッツゴー!!」

ゴーカイジャー「待てこらああ!!」

・・・

なんだかんだでのぞヒビ探偵事務所に行く事になったゴーカイジャー、行き方は・・・

マーベラス「バスか!？」

ターザン「ガレオンは私が預かってます、ちなみにこのバスに乗った瞬間1日絶対に笑ってはいけません。」

ジョー「なんだそんな事か。」

ルカ「さつさと終わらせよう。」

ゴークイジャーはバスに乗った。

『海賊戦隊ゴークイジャー！！絶対に笑ってはいけないのぞヒビ探偵事務所！！』

スタート！！

バス内にて

バス内

マーベラス「何でバスなんだ、そもそもバスなんかで世界のはざまに行けるのか？」

ターザン「大丈夫大丈夫、安心してください。」

ルカ「逆に不安なんだけど。」

そうこうしてるうちにバスが止まった。

ジョー「普通に客が乗ってくるのか。」

ハカセ「・・・ってあれ？」

ゴーカイジャーは目を丸くした。

「???」一度バス内で話そうか。」

「???」いいですよ。」

機動戦士ガンダム

アムロ

ブライト

ガンダムのアムロとブライトがバスに入ってきた。

ブライト「せっかくバスに入ったんだ、互いの意見をぶつけようじゃないか!!」

ブライトはアムロを殴りつけた。

鎧「いやいやバス内は静かにしようよ。」

アムロ「・・・殴ったね？」

ブライト「殴って何が悪い!!」

ブライトは両腕を大きく広げ勢いよく後ろを見る。

アイム「何故うしろを？」

ルカ「さあ？」

ブライトがアムロの胸ぐらを掴む。

アムロ「やめてくださいよ、そんなにガンダムを動かしたいなら、あなたが動かせばいいでしょう!？」

ブライトは再びアムロを殴りつけた。

マーベラス「なんだよあのセリフ言つのかよ。」

ジョー「わけがわからん。」

アムロはブライトを睨みつける。

アムロ「二度もぶつた・・・親父にもぶたれちゃこちょ
× * !
」

ルカ「ぶふっ!？」

ハカセ「うははは!？大事なところ噛んだ!！」

すると

『ルカ、ハカセ、out!!』

ルカ「えっ!？」

ハカセ「な、何!？」

するとバスがいきなり止まるとゴセイレッドがバスに入ってきた。

ハカセ「ゴセイレッド!？」

ルカ「つてきやああ!？」

ルカのレンジャーキーが電気を発した。

マーベラス「お、おい・・・」

ハカセ「ちょっ、何!？」

ハカセは四つん這いにされゴセイレッドがバットでハカセのケツを叩いた。

ハカセ「ぬああ!？」

ゴセイレッドは平然と帰って行った。

ジョー「こ、これは・・・」

ターザン「笑ったら男はケツバット、女は電気ショックなんで。」

ゴーカイジャーは全員鳥肌が立った。

後々お互いをつぶし合う事は言うまでもない。アムロ達は何事もなかったように立ち去った。

・・・

開始15分

再びバスが止まった。

マーベラス「な・・・」

???「いやあ、今回もバッジゲットだぜ!!」

ポケットモンスター

サトシ

サトシがバスに入ってきた。

もちろんパートナーのピカチュウもいるはずだが

サトシ「良かったなピカチュウ!!」

ピカチュウ?「ビッグガッヂュウウ。」

全身に黄色いペンキをねったくった中年の男だった。

アイム「うつ・・・」

鎧「ぶはははは！？」

『鎧、out』

次にバス内に入ってきたのは

スパイダーマン「鉄十字キラー！！スパイダーマン！！」

鎧「スパイダーマン！？」

スパイダーマンはゴムでできたバットで鎧のケツを叩く。

鎧「ぎゃあ！？」

・・・

ゴークアイジャーは既につかれはじめていた。

ルカ「でもマーベラスやジョーにアイム、ずるくない？」

マーベラス「笑ってないんだから仕方ないだろう。」

そしてついに始まってしまった。

ハカセ「はぁ・・・」

アイム「どうしたのですか？ハカセさん。」

ハカセ「・・・布団がふつとんだ。」

マーベラス「・・・」

ジョー「・・・」

アイム「・・・」

ハカセ「・・・ぶっ！！」

『ハカセ、out』

マーベラス「自滅してんじゃねえか。」

再びゴセイレッド参上。

ハカセ「ちょっとダメだって、ぎゃあ!？」

ジョー「ふっ・・・バカな奴だ。」

ルカ「ていうかジョー、今鼻で笑ったでしょ？」

ジョー「は？」

『ジョー、out』

ジョー「ち、ちょっと待て!!今のは笑いじゃ・・・」

「???」よお!!」

ドラベース

シロえもん

ジョー「ま、待て!!野球選手は・・・」

シロ「問答無用おお!!」

シロえもんが全力でジョーのケツをケツバツで叩く。

ジョー「ぐあああ!?!」

シロえもんは去っていった。

ジョー「つ、つぶし合いが始まるとは。」

ターザン「あと10分くらいで到着です。」

マーベラス「長いかわかんねえなあ。」

アイム「そうです・・・」

アイムがふと外に目をやると

アイム「あははははは!?!」

マーベラス「どした?アイ・・・」

マーベラスも外に目をやる。

マーベラス「ぎゃはははははは！？」

ルカ「ちよつとどうしたのよ？」

残りの4人が外に目をやると

ジョー「……耐えろ。」

ルカ「うははははは！？」

「八力セ（我慢我慢我慢我慢我慢我慢我慢我慢我慢我慢！）」

鎧「ぐははははは！？」

外には三輪車に乗っているワルズ・ギルがいた。

ワルズ「心の花よ！出てくるがいいいいいいいい！！」

ワルズ・ギルは声を裏返しながらそう叫んだ。

ゴーカイジャー 全員の腹筋が崩壊したのは言うまでもない。

「マーベラス、声が！！声がぎやはははははは！？」

ジョー「もう、もうダメだははははは！？」

ルカ「うはははははは！？」

「ハカセ、な、中の人のははははははは！？」

アイム「さ、三輪車あははははは！？」

鎧「ぐははははは！？」

『全員、out』

するとバスが止まり入ってきたのは

「5人揃ってゴレンジャー！！」

偉大なる先輩ゴレンジャーだった。

ゴレンジャー「タイヤ！！」

アカ、アオ、ミドはマーベラス、ジョー、ハカセにケツバット、モモ、キはスイッチを押してルカとアイムに電気ショック。
ゴレンジャーは去っていった。

マーベラス「く、くそお・・・いてえ・・・」

鎧「あ、俺助かった。」

ジョー「・・・」

シロえもん「うりゃあああ！！」

鎧「何故シロえもん！？ぎゃあああ！？」

何故かシロえもんが現れ鎧にケツバット。

ルカ「助かるわけないでしょ？（怒）」

ターザン「みなさん、着きますよ。」

マーベラス「よ、ようやく終わった・・・」

しかし、これからが地獄の始まりだった。

つづく

バス内にて（後書き）

最近今更ながら著作権を気にするようになったターザンでした。

探偵事務所内にて

ゴークイジャー一同はついにのぞヒビ探偵事務所に到着した。

ターザン「ええみなさん、ここがのぞヒビ探偵事務所です。」

ルカ「一回来たから知ってる。」

ターザン「では中へ入りましょう。」

ターザンは事務所の入り口でパスワードを入力した。

『声帯検査です。』

ターザン「オンドウルラギッタンディスカアア!!」

ジョー「おいおい。」

『声帯検査、一致しません。』

ハカセ「ぶふっ!？」

『ハカセ、out』

マーベラス「なに笑ってんだ。」

ハカセ「だってあんな全力で叫んでおいて検査にひっかるって・・・」

次に出てきたのは

mother

ネス

ネス「やあ!!」

ネスは持参のバットでハカセのケツを叩く。

ハカセ「ぎゃああ!!?」

アトム「それにしても辛いですね。」

鎧「このままじゃ1日もちません(汗)」

なんとか扉を開け中に入るゴークアイジャー一同。

ターザン「まずは所長に会いに行きます。」

ジョー「よく見たら改築してるな。」

二階

ターザン「所長、ゴークアイジャーを連れてきました。」

????「ご苦労様。」

所長

ダークドリーム

ルカ（所長になってたんだ。）

ダークドリーム「お久しぶりねゴーカイジャー、早速だけどあなた達のコードネームを決めるわ。」

アイム「コードネームですか？」

ダークドリーム「じゃああなたから。」

ダークドリームは鎧を指差す。

鎧「俺ですか？」

ダークドリーム「そうよ、そうねえ・・・あなたは『オタク』。」

鎧「オ、オタク？」

ダークドリーム「次あなた。」

ダークドリームはアイムを指差す。

ダークドリーム「あなたは・・・『ヒメチャン』。」

アイム「なんだか懐かしいですね。」

ダークドリーム「次あなた。」

ダークドリームはハカセを指差す。

ダークドリーム「あなたは『ハカセ』。」

ルカ、マーベラス「・・・ぶふっ!？」

『ルカ、マーベラス、out』

ルカ「まんまじゃん!？きやあ!？」

マーベラス「なっ、お前は!？」

現れたのは星飛雄馬

飛雄馬「だあああ!！」

マーベラス「ぎやあああ!？」

星飛雄馬は持参のバットでマーベラスのケツを叩く。
ルカは電気ショックでしびれる。

ダークドリーム「次あなた。」

ジョー「(『無愛想』とかだろ。」

ダークドリーム「『アタックNo.1』。」

鎧「ぶふっ!？」

『鎧、out』

現れたのは

???「吼新星!!キバレンジャー!!」

キバレンジャーがバットで鎧のケツを叩く。

鎧「痛いけどキバレンジャーだから幸せええええええ!!」

ルカ「キモイわ!!」

ジヨー「髪型をネタにされるとはな(汗)」

ダークドリーム「次あなた。」

ルカ「かつこいいのでお願い。」

ダークドリーム「『盗賊』。」

ゴークイジャー「.....」

ターザン「.....」

ルカ「...ふふ...」

『ルカ、out』

ルカ「ちよつとまんまだしこの沈黙はひきよ...きゃあああ!?!」

ダークドリーム「最後にあなた。」

マーベラス「なんだよ。」

ダークドリーム「『マベちゃん』。」

マーベラス「他よりましか。」

ターザン「チッ」

鎧（今舌打ちした！？）

そしてゴーカイジャー一同は控え室に行く。
その途中

ターザン「あ、のぞヒビ久しぶり〜。」

夢原のぞみ

北条響

のぞみ「ターザンさんお久しぶりです！！」

響「ああ！！ゴーカイジャーだ！！」

マーベラス「よう。」

のぞみ「そうそうこれあげます。」

のぞみは突然飴の入ったプラスチックの容器を渡す。

マーベラス「お、ありがて・・・にゃあああああああああ
！？」

蓋を開けようとした時マーベラスは二回くらい声を裏返して絶叫し

た。

鎧「うはははは！？にゃあってうはははは！？」

アイム「あははははは！？」

『鎧、アイム、out』

シロえもん「どりゃああ！！」

鎧「またかぎゃあ！？」

アイム「きゃあ！！ビリビリイ！？」

ジョー「マーベラス、まさかビリビリがきたか？」

マーベラス「あ、ああ・・・」

のぞみと響は全速力で逃げて行った。

・・・

ターザン「みなさん、お疲れさまです、まだけっこう時間があるのでそれまで控え室でお休みください。」

ターザンはゴーカイジャーを控え室に入れ出て行く。ゴーカイジャー一同はそれぞれの席につき机にうなだれる。

ハカセ「やっと休めるねえ。」

ルカ「まったく・・・椅子に座るのもやっとだわ。」

ふと鎧は机に目をやる。

鎧「そういえばひきだしの中何が入ってますかね？」

つづく

探偵事務所内にて（後書き）

次回、恒例のひきだし！！

引き出しにて

鎧は自分の机にある3つの引き出しのまず一つを開けた。

鎧「何もない。」

2つ目を開けた。

鎧「ん？なんかDVDがありました。」

ハカセ「DVD?」

アイム「一体何でしょうか?」

3つ目

鎧「ス、スイッチ?」

赤いスイッチがあった。

鎧「マーベラスさん達のところにもあるんじゃないですか?」

ジョー「見てみるか。」

ジョーの引き出し一つ目

ジョー「何もない。」

二つ目

ジョー「ない。」

3つ目

ジョー「……………」

大量のゴミ

マーベラス「ぶふっ!？」

アイム「……ふふっ……」

『マーベラス、アイム、out』

マーベラス「な、何故ゴミが……」

ドラベース

エモル

エモル「はいい!！」

マーベラス「ぐああ!？」

アイム「ビリビリイ!？」

ジョー「ルカ、次お前だ。」

ルカ「はいはい。」

ルカは一つ目の引き出しをゆっくり開ける。

ルカ「ん？・・・ぶふっ！？」

バスコそっくり人形

ゴークアイジャー「うはははは！？」

『全員、out』

登場したのは・・・

怪傑ズバット

イナズマン

キカイダー01

キカイダー

キョーダイン

マーベラス「なんか色々出てきた！？ぐああ！？」

ゴークアイジャー「うわああ！？」

ゴークアイジャー一同はケツバットやら電気ショックやらをくらった。

ズバット「ズバツと解決！！」

・・・

マーベラス「しかしバスコそっくり人形とは・・・」

ルカ「他は何もないわ。」

アイム「私がまいります。」

アイムが二つ目の引き出しを開けた。

アイム「何もありません。」

二つ目

アイム「ありません。」

三つ目

アイム「ほっ・・・何もありませんでした。」

ルカ「ハカセ！！早く！！」

ハカセ「わ、わかったよ・・・」

ハカセが引き出しを開けようとすると

鎧「ルカさん、人形貸してください。」

ルカ「何に使う気？」

ルカはバスコそっくり人形を鎧に渡す、鎧は無言でバスコそっくり人形を操りリュウレンジャーのポーズをつくる。。

ハカセ、鎧、マーベラス「・・・ぶふっははははははは！？」

『ハカセ、鎧、マーベラス、out』

再びイナズマン、キカイダー、ズバット参上。

マーベラス「鎧！！てめえぐああ！？」

ハカセ「何で人形なんかでぎゃあああ！？」

鎧「な、なんとなくうわおお！？」

ズバット「ズバツと解決！！」

・・・

ハカセ「今度こそ開けるよ！！」

一つ目

ハカセ「なし！！」

二つ目

ハカセ「なし！！」

三つ目を開けようとしたその時

バチッ

ハカセ「うわあああ！？」

ルカ「うはははは！？」

『ルカ、out』

ルカが衝動で笑ってしまった。

ルカ「きゃあああ！？」

マーベラス「しかし女だけじゃなくハカセまで電気か。」

ジョー「あとはマーベラスだけか。」

マーベラス「あ、ああ、ハカセ三つ目は何もなかったのか？」

ハカセ「うん。」

マーベラスが引き出しを開ける。

一つ目

マーベラス「ま、またDVDか。」

二つ目

マーベラス「なし。」

三つ目

マーベラス「・・・ぶふっ！？」

ワルズ・ギルのプロマイド（大量）

『マーベラス、out』

アカレンジャー参上

アカ「トイヤー!!」

マーベラス「ぐああ!?!」

・・・

ゴーカイジャー一同は引き出しを全て見終わった。

鎧「スイッチにDVD・・・気になりますね。」

ルカ「ってよく見たらバスコそっくり人形にもスイッチがついてるんだけど。」

アイム「とりあえず確かめてみましょう。」

つづく

引き出しの中身にて

ル力はちよつとした好奇心でバスコそっくり人形のスイッチを押した。

『マ〜べちゃん、タ〜イキ〜ック』

マーベラス「・・・は？」

『マーベラス、タイキック』

すると

???「テンマレンジャー！！天重星ショウジ！！」

鎧「テンマレンジャーだあ！！」

テンマ「おらあー！！」

テンマレンジャーはマーベラスを思いきり蹴り飛ばす。

マーベラス「ぎゃあああ！？」

ジョー「こ、こういう仕掛けもあるのか？」

ハカセ「と、とりあえずスイッチは押さないで・・・」

アイム「あっ・・・」

ポチッ

鎧「お、押しちゃったんすか!？」

すると

『マーベラス、タイキツク』

マーベラス「なああああにいいいい!？」

???「体に漲る無限の力!!アンブレイカブルボディ!!ゲキレツド!!」

現れたのはゲキレツド。

ゲキレツド「ワツキワキだああああ!!」

マーベラス「× *!？」

鎧「マーベラスさああん!？」

ゲキレツドは四足で走り去って行った。

ルカ「ああ・・・早く明日になんないかな・・・」

ハカセ「そうだこのDVDなんだろう？」

ハカセはDVDに興味を持つ。

ジョー「・・・見るのか？」

アイム「ですが笑いの仕掛けは手早く無くしたほうが良いと思います。」

アイムの意見にみなが頷く。

ハカセ「よし、やってみよう。」

ハカセはDVDを部屋にあったプレーヤーで読み込ませた。

【テレビ画面】

「さあ始めましたお笑い探偵事務所！！今日はどんな芸人が来るかな？」

「???」はいど〜も〜仮面ライダーガイです。」

「???」イエローライオンです。」

現れたのは仮面ライダーガイとライブマンのイエローライオンだった。

ガイ「いやああつはなついでな〜。」

イエローライオン「古いぞガイ！！そりゃタイキックだ！！」

ガイ「ツツコミが弱いよイエローライオン〜、君もタイキックだ！！」

・・・・・・

ゴークライダー「・・・?」

鎧「仮面ライダーガイ?・・・まさか・・・」

ジョー「イエローライオン、大原丈・・・まさか・・・」

そのまさか

『ジョー、鎧、タイキック』

ジョー、鎧「やっぱりいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい!!?」

ジョーと鎧は同じ名前のヒーローの責任としてタイキックをされる。

???「ナアアアミすわああああん!!」

ワンピース

サンジ

鎧「ぎゃあああ!?!」

ジョー「ぐああ!?!」

・・・

ルカ「ていうか笑い関係なくない?」

ハカセ「僕もそう思ってた。」

するとターザンが部屋に入ってきた。

ターザン「みんな、体験入学者歓迎会をやるから俺についてきてくれ。」

マーベラス「外はなんでも起こりそうだな。」

ゴークイジャー一同はターザンの跡についていき歓迎会会場に向かう。

つづく

引き出しの中身にて（後書き）

はつきり言ってギャグでしょうか？

歓迎会にて

ゴーカイジャー一同は歓迎会会場に到着。

マーベラス「どうせまた仕掛けがあるんだろ。」

アイム「一体何が起こるのでしょうか？」

すると

ターザン「それではこれより、のぞヒビ探偵事務所の体験入学者歓迎会を始めます、探偵事務所長・ダークドリームよりあいさつがあります。」

ダークドリームがゴーカイジャー一同の前に立つ。

ダークドリーム「・・・TODAY IS GOOD WETHE
R・・・」

ルカ、ハカセ「ぶふっ!？」

『ハカセ、ルカ、out』

現れたのは仮面ライダーオーズ。

オーズ「セイヤアアア!!」

オーズのケツバットは誤ってハカセの背中に直撃。

ハカセ「ぎやあああああああああああああああ
ああああああ！？」

ルカ「きゃあ！？もういきなり英語って！！」

ターザン「続いて、異世界からのゲストです。」

仮面ライダーファイズ×スイートプリキュア！！転校生は仮面ライダー！！？

犬上狼

狼「え、犬上狼です。」

マーベラス「まさかNOS他作品からくるとはな。」

狼「とりあえず体験入学者、控え室に戻りなさい！」

鎧「ええ・・・」

アイム「来たばかりなのですが……」

とりあえずゴーカイジャー一同は控え室に戻ろうとすると突如目の前にダマラスが現れた。

ジョー「ダメラス!？」

「マーベラス、何しに來やがった!？」

ダマラス「……」

すると

ダマラス「このダマラス様が貴様らを・・・黙らす!!」

ゴーカイジャー「・・・・・・・・」

ターザン「・・・・・・・・」

狼「・・・ぶふっ!」

『狼、out』

狼「ええ!?俺も!」

現れたのは仮面ライダーファイズ、乾巧。

ファイズ「手加減しねえぞ、ヤアアア!!」

クリムゾンケツバット

狼「ぎゃああああああああああ!!」

狼は元の世界に飛ばされた。

ハカセ「は、早く戻ろうよ!!」

ゴーカイジャー一同は控え室に戻った。

.....

ターザン「しかしどうですか、気分は？」

ジョー「最悪だ。」

ルカ「本当、早く終わりたいわ。」

ゴークアイジャー一同は控え室に入った。

ターザン「昼食の時間がもうすぐですのでしばらくお待ちください。」

鎧「またなんか仕掛けがありそう……」

つづく

昼食にて

控え室に戻ったゴーカイジャー一同は昼食の時間になった。

ターザン「みなさん、昼食はバイキングです。」

マーベラス「バイキング？あの好きなもん食っていいってやつか？」

ターザン「そうです、ですが食べられるのはこれから始めるゲームで決めます。」

すると控え室に料理とカードが運ばれた。

アイム「カード？」

ターザン「まずこのカードを引いていって1人三枚集まったら終わりです、カードには料理の名前が書いてあります。」

マーベラス「面白そうじゃねえか、やるぞ。」

じゃんけんでカードをひく順番を決める。

ジョー ルカ 鎧 ハカセ アイム マーベラス

ジョー「まずは俺だな。」

ジョーがカードをひく。

ジョー「オニギリか。」

ジョー、オニギリ get

ルカ「次は私ね。」

ルカがカードをひく。

ルカ「ひじきかぁ。」

ルカ、ひじき get

鎧「次は俺ですね!! おりゃあ!!」

鎧がカードをひく。

鎧「・・・ぶふっ!？」

『鎧、out』

現れたのは仮面ライダーシン、バットを構える。

シン「ぐおお!!」

鎧「ぎゃあ!？」

マーベラス「鎧、何をひいたんだ?」

鎧がカードを見せる。

桃太郎の格好をしたマーベラスのプロマイド。

ハカセ、玉子焼きget

ハカセ「やった!!」

アイム「次は私ですね。」

アイムがカードをひく。

アイム、納豆get

アイム「納豆とは何でしょう?」

鎧「ええ!? 納豆知らないんですか!」

ジョー「俺がよく体力つけるために毎朝食べてるだろ。」

アイム「あの臭いがしてネバネバしているやつですか? (汗)」

ルカ「確かにアイム苦手そうだね。」

マーベラス「やっと俺か。」

マーベラスはカードをひく。

マーベラス、イナゴget

マーベラス「いつ!」

ジョー「イナゴ?」

ルカ「あの虫みたいなの！？ひいひいひいひいひいひい！！？」

•
•
•
•
•
•
•

なんだかんだで

ジョー オニギリ、漬け物

ルカ ひじき、五目ご飯

鎧
白米

ハカセ 玉子焼き、ベーコン

アイム
納豆、
味噌汁

マーベラス
イナゴ
×2

ハカセ「うはははははは！？」

ハカセ、out

ハカセ「うははははは！？イナゴ×2！？」

再び仮面ライダーシン。

ハカセ「うああ!？」

ジョー「ラストだな。」

ジョーがカードをひく。

一品没収

ジョー「は？」

ジョーはオニギリを没収された。

ジョー「なにい！？」

ルカ「次は私ね。」

ルカはカードをひく。

ルカ、横取り

ルカ「横取り？」

ターザン「メンバーの料理をひとつだけ横取りできます。」

ルカ「じゃあハカセのベーコン。」

ハカセ「ええ！？」

鎧「次は俺！！気力てんしーーーー！！」

鎧はカードをひく。

鎧、赤龍軒の餃子

鎧「よおおおおおおおおおおおおおおおお
おおおつつつつつつつつつつしやあああああ
あああああああああああ！！」

鎧はかんきわまってダイレンジャーのメンバー全ての名乗りポーズをした。

ハカセ「つ、次は僕だね。」

ハカセはカードをひく。

ハカセ、チャーハンget

ハカセ「や、やった！！」

マーベラス「チツ。」

アイム「次ですね。」

アイムはカードをひく。

アイム、コシヒカリget

ジョー「アイムは和食統一か。」

アイム「良かった…」

マーベラス「たく、もうイナゴはかんべ…」

マーベラス、イナゴget

マーベラス「だあああああああああああああ！
？」

マーベラスは声を裏返しながら叫んだ。
そして昼食。

亮「鎧君、いくらでも焼くからね！！」

鎧「はいいいい！！おおおおおかわりお願いしまあああす！！」

ルカ「五目ご飯も結構美味しい！！」

ジョー「漬け物ひとつだと・・・」

マーベラス「ましなほうだろ！！」

ハカセ「このチャーハン美味しい！！」

アイム「納豆というのは美味しいですね。」

それぞれ昼食を済ませて休憩していると

鎧「・・・・・・」

ゴーカイジャー「・・・ぶふっ！？」

鎧がバスコそっくり人形でアクションシーンを再現していた。
鎧も自滅だが

ルカ、アイム「きゃあ!?!」

重甲ビーファイター

ブルービート

ビーファイターカブト

仮面ライダーカブト

カブタックスーパーモード

カブト一同「トイヤ!?!」

男子「ぎゃああ!?!」

つづく

昼食にて（後書き）

年末までに延長します

探偵調査見学にて

昼食をすませたところでゴーカイジャーのもとにターザンが来た。

ターザン「みなさん、今から探偵調査の見学に行きます。」

アトム「見学ですか？」

ルカ「さつさと終わらせてよ?。」

ゴーカイジャー一同はのぞみ、響、ダークドリームのもとに向かった。

・・・

のぞみ「え〜と依頼人さんは・・・あ、ゴーカイジャー!!」

響「見学だっけ?。」

マーベラス「ああ、さつさと終わらせてくれ。」

ダークドリーム「そんな簡単に終わるわけ・・・」

コンコン

ガチャ

のぞみ「あ、依頼人さ〜ん!!」

ちびまる子ちゃん

野口さん

ハカセ「ぶふっ!?!」

『ハカセ、out』

巨人の星

星飛雄馬

飛雄馬「うおおお!!」

ハカセ「ぎゃああ!?!」

ダークドリーム「野口さん、依頼は?」

野口「裏山にいる大きなカブトムシと一緒に採ってほしいんだ、キツキツキツ・・・」

のぞみ「よしカブトムシを捕まえるぞお!! けっけい」

.....

裏山

アイム「本当に裏山まで来てしまいましたね。」

響「構え!」

のぞみ、響、ダークドリームは虫取り網を構える。

のぞみ「とお!!」

のぞみが捕まえたのは・・・

???「おばあちゃんが言っていた。」

仮面ライダーカブト

マーベラス、ジョー「ぶふっ!？」

『マーベラス、ジョー、タイキック』

ハカセ「タイキック!？」

カブト「はあ!!」

『R i d e r ・ k i c k ! ! 』

マーベラス、ジョー「ぎゃああああす!？」

響「とう!!」

ビーファイターカブト

ダークドリーム「たあ!!」

仮面ライダーストロンガー

こんな感じでカブトもどきがいっぱい捕まった。

夕食にて

なんだかんだでもう夕食の時間。

ルカ「なあにがなんだかんだよ！！すうごく長かったわよ！！」

控え室に戻ると

「激走戦隊！！カアアレンジャー！！」

ゴーカイジャー「帰れ！！」

・・・

鎧「うう、お尻が…」

ハカセ「やつと夜だあ。」

すると

ターザン「みなさん、夕食の時間です、別室に移動しますよ。」

ジョー「また笑わせるつもりか…」

ゴーカイジャー一同はターザンについていき食事会場に行く。

のぞみ「あつ！！みんなもここで食べるの？」

アイム「そのようです。」

響「やった!!」

ダークドリーム「食事も美味しくなりそうね。」

ゼクロス「そうだな。」

ハカセ、ルカ「ぶふっ!？」

『ルカ、ハカセ、out』

そこには顔だけゼクロスの村雨良がいた。

ゼクロス「とお!!」

ハカセ「うわぁ!？」

ルカ「電気いやあああああ!？」

ターザン「席についてください。」

それぞれ席につき食事を始める。

鎧「食事中くらいはゆっくりしたいですよねぇ。」

ジョー「全くだ。」

ジョーが味噌汁の器の蓋を開けると

ジョー「……………ふふ……………」

インサーンイラストのおふが味噌汁に入っていた。

『ジョー、out』

マーベラス「なゑに笑って…」

マーベラスもジョーの味噌汁を見る。

マーベラス「ぷははははは!？」

『マーベラス、out』

現れたのはバロム1と仮面ライダーW。

W、バロム「せえの!！」

ジョー、マーベラス「ぎゃああああす!？」

………

アイム「しかもう7時ですか。」

ハカセ「早く食事済ませちゃおうよ!!またなんか来るよ!!」

その予想は見事に的中

ターザン「それではのぞヒビ探偵事務所のお笑いショーを開催します!！」

鎧「本当に始まったああ!？」

ターザン「どうぞ。」

現れたのは…

ダークプリキュア

江戸川コナン

ダーク「おい小僧、調子にのるなよ。」

コナン「おい、手で口隠せ。」

ダークプリキュアとコナンは手で口を隠す。

「僕の名前は江戸川コナン!！」

ダーク、コナン「はいどっちが言ったでしょう?」

タイキ「正解はこの俺工藤タイキだ!！」

ダーク、コナン「どこから出てきた!？」

ビシッ!

ゴーカイジャー「……………」

ターザン「……………」

タイキ「プリキュア!！ダークパワーフォルテッシモ!！」

コナン「デジクロス!!」

ダーク「真実はいつもひとつ!!」

ゴークアイジャー「・・・ふふ・・・」

『ゴークアイジャー、out』

鎧「うわあ!?笑ってしまったあ!？」

現れたのはダークプリキュア、コナン、タイキ、そして

忍たま乱太郎

乱太郎

クレヨンしんちゃん

オケイおばさん

「せーの!!」

ゴークアイジャー「中の人ぎゃあああす!？」

・・・

ターザン「さあ、食事も終わりましたね?みなさん手を合わせて…」

マーベラス「やっと終わ…」

ターザン「ごっちゃんです!!」

マーベラス「ぶふっ!？」

『マーベラス、out』

マーベラス「今のタイミングでそれは無しだろ!？」

現れたのはリュウレンジャー。

リュウ「はいいい!~!」

マーベラス「ぐあああ!？」

ターザン「みなさんは控え室に戻ってください。」

そろそろ終わりに近づく今企画、しかしゴークアイジャーの悪夢はまだまだ終わらない。

つづく

肝試しにて

ゴーカイジャーが控え室で休んでいると

ターザン「みなさん、探偵たるもの暗闇でも冷静でなければなりません、なので肝試しです。」

アイム「き、肝試しですか？」

ルカ「嫌よ！！絶対嫌！！」

ターザン「はい！！」

ルカ「きゃあああああ！？」

ジヨー「そういえば逆らったら電気ショックだったな。」

マーベラス「さっさと終わらせるぞ！」

.....

事務所内は真っ暗でいくつか不気味な明かりがついていた。

ハカセ「ちょっと暗すぎだよ！？」

マーベラス「う、うるさい！！」

ゴーカイジャーはどんどん奥に進んでいく。

鎧「な、なんか出たりして…」

すると

だらっ　だらっ　だーだー　だらっ　だらっ　だーだー

鎧が喜ぶ気力溢れるイントロが流れる。

鎧「うっはああああ!!!!」

そして

???「五星戦隊!!ダイレンジャー!!」

それはダイレンジャーのスーツを無理やり来たバリゾーグ、インサーン、ダマラス、ジェラシット、ワルズ・ギルだった。

アイム「ふふ!?!」

ルカ「ぷぷっ!?!」

『アイム、ルカ、out』

アイム、ルカ「きゃあああ!?!」

マーベラス「こんなところまでお仕置きが…」

……

とにかく奥に進むとそこには所長室が

ジョー「入るぞ…」

すると天井を突き破り何かがぶら下がってきた。

ハカセ「うおお！？」

「アカレンジャイ！！」

窓をがち割って

「キレンジャイ！！」

床を突き破り

「アオレンジャイ！！」

壁を突き破り

「モモレンジャイ！！」

時空の扉から

「ミドレンジャイ！！」

「5人揃って、ゴレンジャイ！！」

マーベラス「どっから出てくんだよ！？」

・・・

所長室に入るとそこには6枚のお札があった。

ルカ「なんか書いてる・・・『控え室に持って行ってね』だって。」

ハカセ「とりあえず持っていこ。」

ハカセがお札に触ると

ハカセ「うわあああああああ!？」

ジョー「ぐふっ!？」

『ジョー、out』

現れたのはキュアドリーム。

ドリーム「えい!!」

ジョー「ぐああ!？」

鎧「ドンさん!!ビリビリですか!？」

ハカセ「う、うん。」

ルカ「他は…大丈夫みたいね。」

アイム「走って戻りましょう。」

ゴーカイジャーは走って控え室に向かう。

ルカ「・・・あれ？みんな？」

ルカはいつの間にかみんなとはぐれてしまっていた。

ルカ「ちよつとみんな！？どこにいんの！？」

ルカは事務所内を走り回る。

？？？「ズバツと・・・」

ルカ「うるさい！！」

ズバツト「ぐああ！？」

ズバツトはぶつ飛ばされとにかく走り回るルカ。

ルカ「はあ・・・はあ・・・」

すると肩に何かが乗つかる。

ルカ「ひっ！？」

それは

アイム「ルカさん、大丈夫ですか？」

アイムだった。

後ろにはマーベラス達もいる。

ルカ「ア、アイムウウウウウ!!」

ルカはアイムに抱きついた。

アイム「ル、ルカさん!？」

.....

翌日

ターザン「みなさん、お疲れ様です、ここをでますよ。」

ジョー「つ、ついに・・・」

鎧「終われる!？」

つづく

肝試しにて（後書き）

次回、最終回

最終回にて

ゴーカイジャー一同は事務所のロビーにでる。

ターザン「みなさんお疲れ様です、事務所の扉をくぐれば終了です。」

「

マーベラス「やっとか。」

すると

のぞみ「ゴーカイジャー!!!お疲れしま。」

鎧「ぶふっ!?!」

『鎧、out』

現れたのは変身忍者嵐丸。

嵐丸「きえええええええ!!」

鎧「ぎゃあ!?!」

響「本当にお疲れ様、ゴーカイジャンジャン横丁!!」

ルカ、アイム「ぶふっ!?!」

『ルカ、アイム、out』

ルカ、アイム「しびれるウウウ！？」

ダークドリーム「これはほんのお祝いよ。」

ダークドリームが箱をマーベラスに渡す。

マーベラス「お、ありが・・・」

箱を開けると

ビヨヨン！！

『マーベラス、ハカセ、タイキック』

お仕置き命令びつくり箱だった。

マーベラス、ハカセ「ええ！？」

現れたのは仮面ライダーエターナルとスカル。

エターナル「スア！！」

スカル「とお！！」

マーベラス、ハカセ「ぎゃあ！？」

・・・

ターザン「さあ、終わりの時です。」

マーベラス「よし!!」

ゴークアイジャー一同が扉を開けると

ジェラシット「インサアアアアン!!」

ゴークアイジャー「ぶふっ!?!」

『全員、out』

現れたのは偉大な先輩ゴレンジャーとジェラシット。

ゴークアイジャー「ぎゃあ!?!」

ターザン「さあ!!扉をくぐるのです!!」

マーベラス「逃げ!!」

ゴークアイジャー一同は扉をくぐった。

ゴークアイジャー「終わったああす!!」

しかし、ルカとアイムはしばらくしびれたりマーベラス達男組はお尻がしばらく赤かった。

終わり

最終回にて（後書き）

次回作

四季・・・それは世界を安定させる大切なもの、それは異世界にあるハルル、ナーツ、アキン、フユーンという4つの国により存在していた。
しかし

「アハハハハ！！全て吹き飛んでしまえ！！！」

「やめるサミ！！！」

「危険だウイン！？」

世界を嵐に包み込もうとする組織・アラシンがその国を襲った。
国が乱れれば世界は破滅してしまう。
しかし

「ちょっと・・・私は・・・そんな事・・・」

「良いの！！私達がやるのよぉ！！この私にまっかせなさい！！」

早乙女夏樹、新川冬美が伝説の戦士プリキュアとなりアラシンに立ち向かう！！

正月 執筆予定！！

.....

笑ってはいけないゴーカイジャーはこれにて終了です。
ありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3613z/>

海賊戦隊ゴーカイジャー!!絶対に笑ってはいけないのぞヒビ探偵事務所!!

2011年12月28日21時53分発行